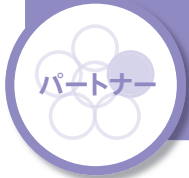




パートナー

フランチャイジーおよびサプライヤーとの適切な関係構築のもと、
一体となってマクドナルドビジネスを展開していきます。
株主の皆様には、適正な利益還元と積極的な情報発信に努めています。





サプライヤーリレーション



マクドナルド独自の高い基準をクリアし、安全でおいしい商品をお客様にお届けするために、なくてはならない大切なパートナーとして、サプライヤーとのさまざまな連携を図っています。

【 サプライヤーとの関係 】

サプライヤーは、マクドナルドとともに、基本理念である「QSC&V (Quality: 品質、Service: サービス、Cleanliness: 清潔さ、Value: 価値)」を共有し、すべての原材料の供給を行う重要なパートナーです。サプライヤーには、食の安全に関わる法律や基準、マクドナルド独自の厳しい基準を満たす検査、児童労働および差別の禁止など雇用に関する項目が記載された「サプライヤー行動規範」の遵守をお願いしています。

全管理体制の強化など、重要な内容に関しては、「グローバル・サプライチェーン・マネジメント・トレーニング会議」も実施しています。



サプライヤーミーティング

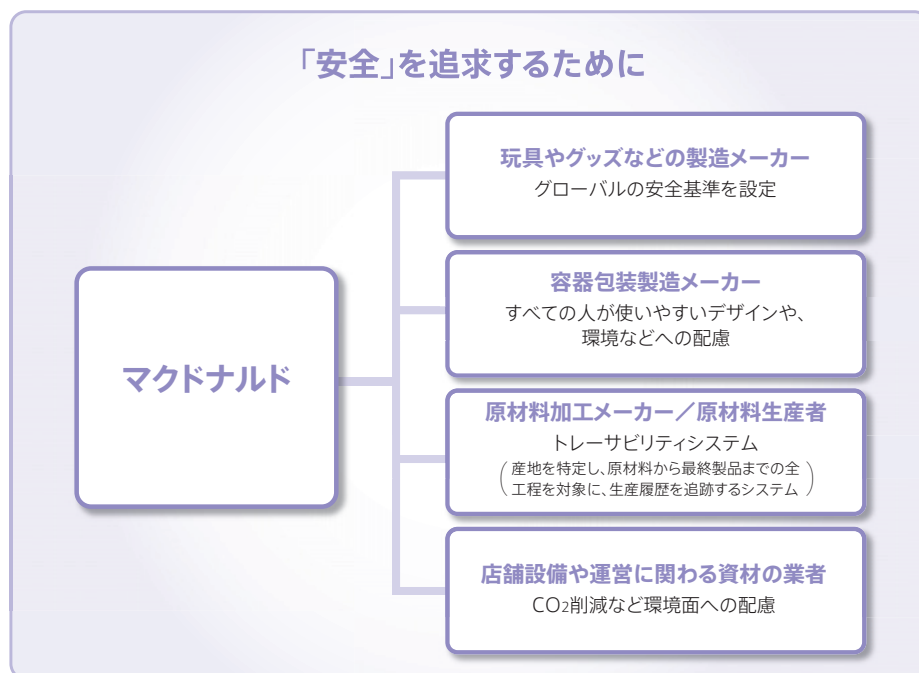
【 サプライヤーとのコミュニケーション 】

業務上必要となる機密情報などの取り扱いについても、相互に理解・納得できるよう、密接なコミュニケーションを図っています。パートナーとしての信頼関係を構築するため、サプライヤーミーティングなどを開催しています。また、全体の安

【 公正な取引 】

サプライヤーとの取引においては、法規制を遵守し、社会的な公正に反することのない関係の構築に努めています。また、公平性を維持するため、原材料の調達に関しては、第三者による監査を定期的実施しています。

▶マクドナルドとサプライヤーとの関係





居心地の良い店舗空間をつくり、お客様に商品やサービスを提供するためのパートナーとして、マクドナルドはフランチャイジーの信頼・協力関係の強化に継続的に取り組んでいます。

【フランチャイジーへの考え方】

マクドナルドとフランチャイジーは、お客様に「最高の店舗体験」をしていただくという共通の理念に向け、それぞれの役割を明確化し、ビジネスを遂行しています。また、店舗の枠を超えた人材交流や、エリア全体、マクドナルド全体を見据えた経営戦略により、ともにビジネスの成長とマクドナルドブランドの向上を図っています。

【フランチャイジーとのコミュニケーション】

ビジネスの要として、フランチャイジーとの円滑なコミュニケーションに取り組んでいます。定期的で開催している「タウンホールミーティング」は、事業戦略を共有する重要な場となっています。また、世界中のマクドナルドフランチャイジーが一堂に会する情報交換の場として「ワールドワイドコンベンション」も隔年で開催しており、ビジネスパートナーであるフランチャイジーを全面的にサポートしています。

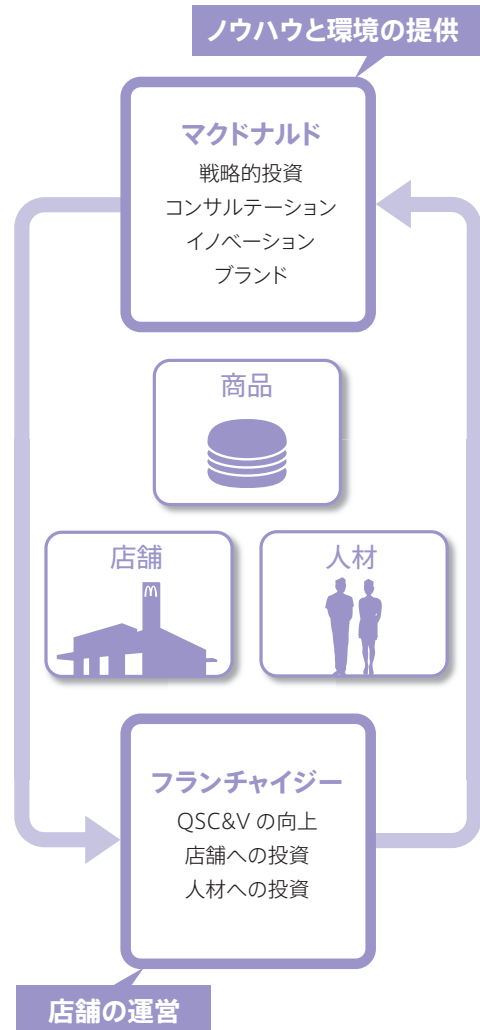


タウンホールミーティング

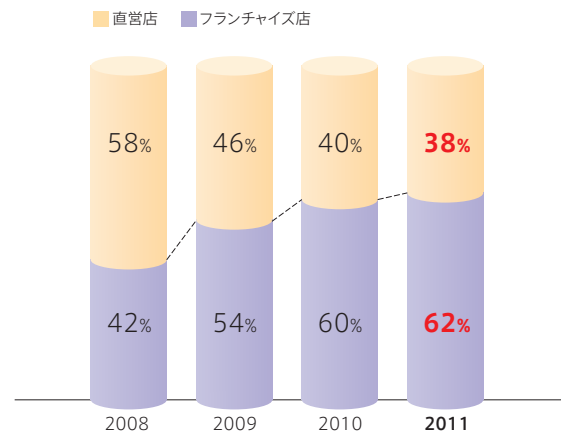
【人材マネジメント】

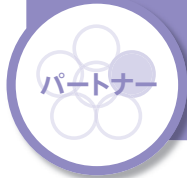
質の高い商品・サービスを提供するために、また日本一の教育機関として、人材育成を強力にサポートしています。さらに、女性の活躍推進 [→P.26参照](#) などの取り組みも、協業して進めています。

▶マクドナルドとフランチャイジーの関係と役割



▶フランチャイズ店舗比率





株主・投資家



マクドナルドのオーナーとして、ビジネスを支えていただいている株主の皆様、また投資家の皆様との良好な関係を継続できるよう、コミュニケーションの強化に取り組んでいます。

株主・投資家への考え方

日本マクドナルドは、28万名を超える多くの株主の皆様、投資家の皆様によって支えられています。株主・投資家の皆様には、適切なリターンと情報発信を行うことにより、十分な理解とご支援をいただけるよう努めています。

発行可能株式総数

480,840,000株

発行済株式総数

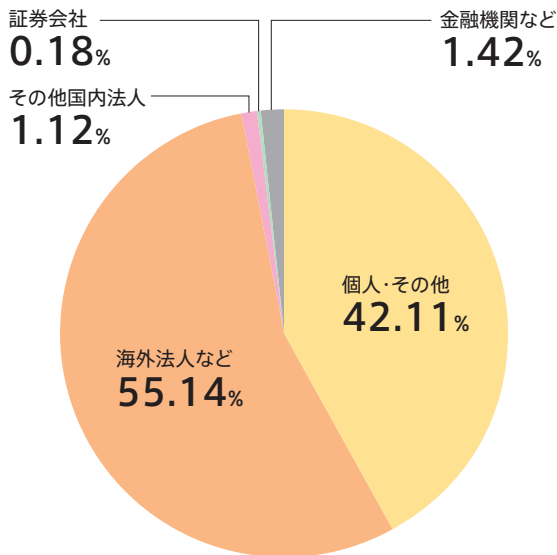
132,960,000株

株主数

283,881名

(2011年12月31日現在)

所有者別株式分布状況 (2011年12月31日現在)



利益の還元

日本マクドナルドは、株主・投資家の皆様に対して業績、配当性向、キャッシュ・フローのバランスを統合的に勘案し、安定的な配当の継続を基本に利益還元に取り組んでいます。また、株主の皆様には全国の店舗で利用できる優待食事券を年2回配布しています。



株主とのコミュニケーション

すべての株主の皆様に適時適切かつ公正に情報を提供するため、WEBサイトを利用した情報の開示とコミュニケーションを図っています。セールスをはじめとする各種財務データの開示のほか、定時株主総会や決算説明会などのIRイベント情報の発信も行っています。

株主・投資家の皆様へ

<http://www.mcd-holdings.co.jp/>

